令和7年度　　授業改善推進プラン　　1年　　保健体育科

1 日常の学習状況・課題について

（1）学習状況について

体育委員が中心になって声掛けを行い、授業開始のチャイム前に集合して時間どおりに授業開始という意識が少しずつ芽生え、主体的に取り組むことができている。また、自己や仲間の技能を視覚的に捉えて気付きを伝えることが苦手な生徒が多い。

（2）学習の課題について（非認知能力）

初めて行う技能において、苦手意識をもつ生徒が多い。失敗しても前向きに気持ちを切り替えて粘り強くあきらめずに取り組む姿勢を身に付けることが課題である。

2 改善の計画

（1）危険や事故（けが）について考えさせ、安全な運動を確認し進める。
（2）単元の1時間目にオリエンテーションを行い、単元の流れなど見通しをもたせるとともに、各単元の基本的な知識を身に付けさせる。
（3）学習カードを活用し、自己・グループの課題を見付け、解決する授業を展開する。
（4）ホワイトボードを使い、本時の流れ・めあて等を視覚的に確認・意識させる。
（5）毎時、基礎的な技能を反復して行うとともに、課題別練習の時間を設け、技能別の練習場所を設定して技能の定着・向上を図る。
（6）グループ活動を通して、互いの活動や動きを見て、他者の運動の特性や課題の解決のために必要な活動を考えさせ、取り組ませる。
（7）効果的な場面で4人組等のグループ形式の学び合う学習を取り入れていく。
（8）丁寧で端的な説明や視覚的理解を促進する示範を増やす。
（9）準備や片付けは具体的な指示を出し、率先して動く体制をつくる。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1）グループ練習を取り入れることで、自らの課題を客観的・視覚的に捉えて改善に向けた取り組みを行う。
（2）課題別練習を取り入れることで主体的に課題を解決しようとする姿勢を高める。

4 プランの評価方法

（1）授業アンケートを行い、変容を見る。

（2）年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。